

パス活動がもたらすもの、 パス活動に必要なこと ～質向上・負担軽減・教育～

トヨタ記念病院 岡本 泰岳
日本クリニカルパス学会 理事
企画・教育委員会、 学術・出版委員会

本日の講演内容

- 日本クリニカルパス学会教育セミナー
 - パス医療・パス活動の本質(SDCA+PDCAサイクル)
 - ⇒このサイクルを回すための知識と技術
- アウトカム志向
 - 2つのアウトカム(目標と成果)志向
 - パスにおける標準化とは
- パスは医療従事者の業務負担軽減をもたらす？
- パス教育における学会の今後の活動



クリニカルパス導入効果と意義

- チーム医療の推進
- 患者参加型医療の提供
 - インフォームドコンセントの充実
- 質保証・質改善
 - 医療安全 リスク管理
 - 業務改善・効率化
- 経営戦略
 - 業務効率化(⇒時間管理)
 - コスト管理
- 職員教育(教育ツール)

医療の質の向上

臨床アウトカム
財務アウトカム
満足度アウトカム

成果・結果

パス活動がもたらすもの！

クリニカルパス導入効果と意義

- チーム医療の推進
- 患者参加型医療の提供
 - インフォームドコンセントの充実
- 質保証・質改善
 - 医療安全 リスク管理
 - 業務改善・効率化
- 経営戦略
 - 業務効率化(⇒時間管理)
 - コスト管理
- 職員教育

セットオーダーが
こんな効果を生む！？

確かに便利だけど
質保証や教育面では
マイナスでは！

臨床アウトカム
財務アウトカム
満足度アウトカム

成果・結果

単なる日程表(予定表)が
こんな効果を生む！？

クリニカルパス導入効果と意義

- チーム医療の推進
- 患者参加型医療
 - インフォームドコンセント
- 質保証・質改善
 - 医療安全 リスク管理
 - 業務改善・効率化
- 経営戦略
 - 業務効率化(⇒時間短縮)
 - コスト管理
- 職員教育

標準診療計画(標準化)

患者状態と診療行為の目標

医療の質の向上

臨床アウトカム
財務アウトカム
満足度アウトカム

成果・結果

アウトカム志向の
作成・使用、活動でないと...

病院における医療の質向上活動って？

- 最終目標(私たちの願い！ 何のためにしている)
3つの視点の**成果(アウトカム)**がバランスよく高まる！
 - **臨床** アウトカム (患者の健康増進)
 - **財務** アウトカム (持続可能な医療提供)
 - **満足度** アウトカム (患者・医療従事者満足)

組織的な**質管理**がポイント！

良いプロセス が 良いアウトカム を生む！

- 実際の活動は、**行動(プロセス)**の策定とその実施
 - 医療安全対策
 - 感染対策、褥瘡対策、NST活動など
 - 個別疾患に対する**診療・ケアプロセス**⇒クリニカルパス

パス教育の重要性・必要性

- クリニカルパス導入の意義は高い！
- 医療現場に**質の向上をもたらすツール(道具)**！
- ツールが故に、**正しく上手に使わないと**！
- **パス医療の本質**を正しく理解し、
作成⇒使用⇒評価・分析⇒見直しの
知識 や 技術を学ぶ必要がある！

パス活動に必要なこと！

質管理(Quality Management)

- **質保証**
QA; Quality Assurance
- **継続的な質改善**
CQI; Continuous Quality Improvement
- **質測定(←質の評価)**

3本柱！
(概念)

医療における質保証

■ 品質保証

- 効率と品質が求められるあらゆる活動において、それらに保証を与えるのに必要な**証拠を提供する活動**一般を指す
- 品質が所定のレベルに到達していることを**事前に確認**する手続きを効率的に構築するものである

クリニカルパス作成・見直しの基本概念！

■ 質の高い医療と質保証

- 患者に**必要**とされる**良い**医療を**的確に安全に**実施
- **標準診療プロセス**の構築と事前確認
 - 標準≒「確立されたやり方の中で、一番良いもの！」
 - 標準化: 標準に合わせること、近づけること(最適化！)

パスにおける質保証

- パスが対象とする患者
医療者が**想定している治療経過**をたどる群
- つまり、
標準診療プロセスを提供することにより、
通常、治るべき患者の群がパスの適用対象

この群の患者が、きちんと治る必要がある！
(パスにおける基本的な質保証)

医療における質改善の手法

■ プロセスアプローチ

- 最適と考えられる治療法を取り入れて行くことで質改善を図る
- 具体的に何をすべきかが分かりやすい反面、
最適な治療法=最良の結果とは限らない、という問題を有する
- **診療ガイドライン、クリニカルパス**など

お手本！

両者は連携して
進められる必要がある！

■ アウトカムアプローチ

- 患者データベースなどにより治療結果を提示し、事後的にその結果を高めることで質改善を図る
- 結果を示されるのみでは、どのような方法(プロセス)を実行すれば結果の改善が得られるかが不明である、という問題を有する
- **臨床指標(質評価指標)**など

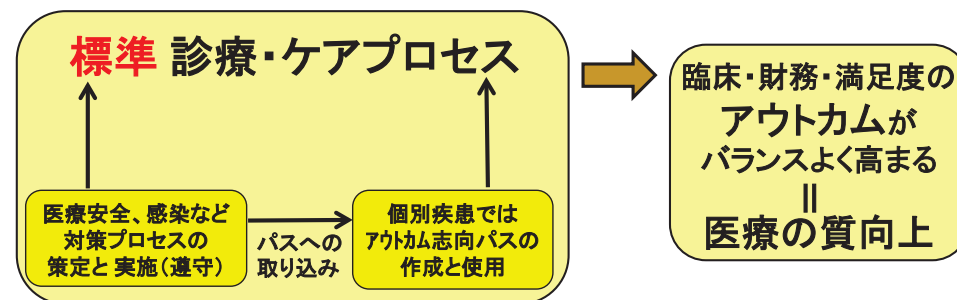
目標値！

病院における医療の質向上活動

「良いプロセスが 良いアウトカムを生む！」

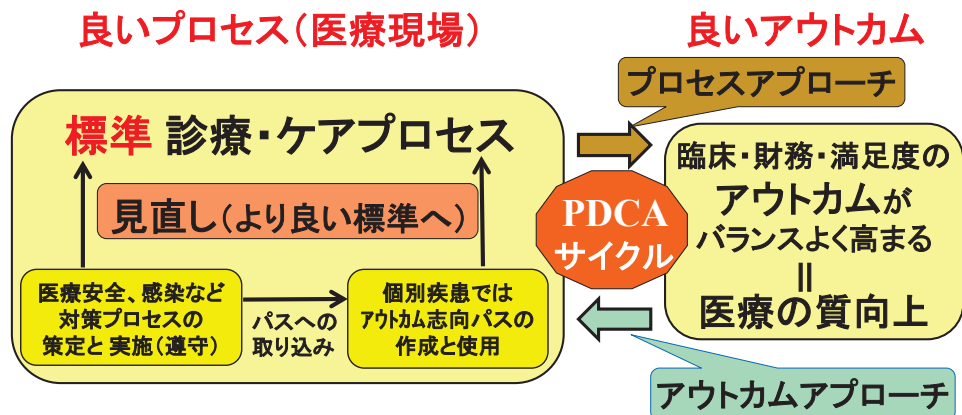
良いプロセス(医療現場)

良いアウトカム

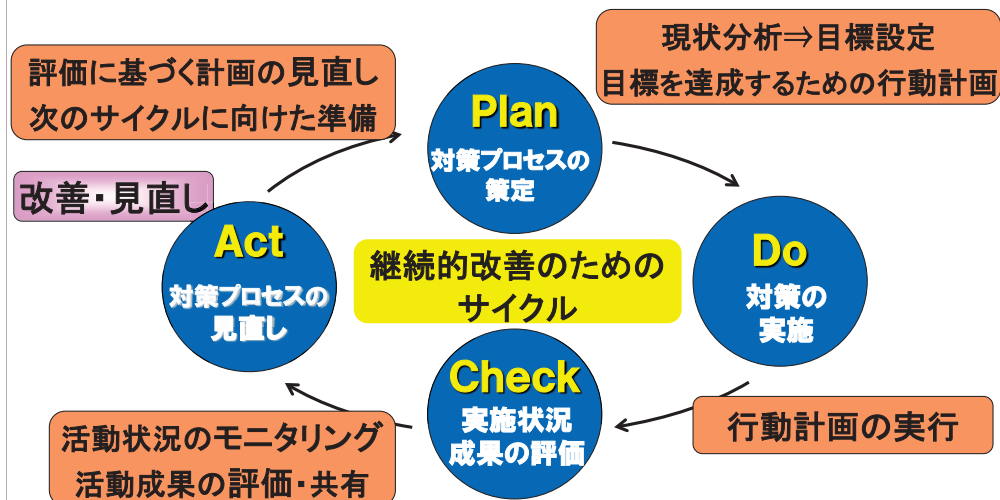


病院における医療の質向上活動

「良いプロセスが 良いアウトカムを生む！」



PDCAサイクル



定義 と クリニカルパス用語

(日本クリニカルパス学会 2014)

患者状態と診療行為の目標、および

評価・記録を含む標準診療計画であり

標準から偏位を分析することで、

医療の質を改善する手法

定義 と クリニカルパス用語

(日本クリニカルパス学会 2014)

アウトカム

患者状態と診療行為の目標、および

観察項目(アセスメント)

標準プロセス

評価・記録を含む標準診療計画であり

バリエーション

標準から偏位を分析することで、

医療の質を改善する手法

パスの作成、使用、活動は
アウトカム志向でなきゃ！

アウトカム志向には2つの意味が！

①パス内のアウトカム パスの作成・使用

目指すべき患者状態(目標)を達成するための

治療・ケアが提供され、**達成確認の記録・評価**がなされる



パスの評価・改善

良い成果・結果に結びつく(結びつかせたい)

②広義のアウトカム

アウトカム志向には2つの意味が！

(患者)アウトカム

①パス内のアウトカム パスの作成・使用

目指すべき患者状態(目標)を達成するための

治療・ケアが提供され、**達成確認の記録・評価**がなされる

(医療者)アウトカム:タスク



パスの評価・改善

良い成果・結果に結びつく(結びつかせたい)

②広義のアウトカム 臨床・財務・満足度アウトカムの向上

経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-Bt)クリニカルパス

適応基準	除外基準	〇=Drサイン 指示受ける看護師サイン
TUR-Btを行う症例 砕石位をとることができる 麻酔の種類はとわない	体温38度以上 透析症例 血小板が10万以下である	コール投与 発熱がない(37.5℃以下) 血尿がコントロールできる (血尿スケール1以下) ルンバルの副作用が強く出ていない

※1 追加指示を記入する際には、指示書のサインを近傍に記入する。 ※2 指示実行者は、実行確認後右側にサインする。

患者状態	手術前日	手術当日前夜	手術当日夜	術後	術後2日目
患者状態					
生活動					
知識・理解					
合併症					
検査					
処置					
検査					
内服薬					
点滴・注					
清潔					
排泄					
食事					
追加指示					

患者アウトカム (患者状態の目標) → **望ましい成果** → **あるべき状態** → **達成すべき状態**

医療者アウトカム (診療行為の目標) → **タスク(業務・仕事) 処置・検査・説明・記録**

連動

患者、医療者アウトカムの関係

- **医療者アウトカム(タスク)の設定**
 - 患者アウトカムの**達成のために必要なタスク**
 - 患者アウトカムの**達成の確認に必要なタスク**
(評価・記録には具体的・客観的な**判定基準**が必要)
観察項目(アセスメント)も患者アウトカムと連動
- **患者アウトカムはパスの作成、使用の要！**
 - **適切な設定と改定が、連動するタスクの改善と相まって、パスの質を高める**
 - **パスの適用中は、達成の確認、未達成時の対応**
⇒**質の保証、個別性への対応**

アウトカム志向パスの作成

臨床パスの作成 = 診療プロセスの **見える化**

患者アウトカムの設定 = **目標**(考え方・進め方)の見える化



連動



医療者アウトカムの設定 = **治療・ケア内容**の見える化

チームメンバー(特に医師)の頭の中(ブラックボックス)を患者アウトカムという形で明らかにさせる!

アウトカム志向パスの作成

臨床パスの作成 = 診療プロセスの **見える化**

患者アウトカムの設定 = **目標**(考え方・進め方)の見える化



連動



医療者アウトカムの設定 = **治療・ケア内容**の見える化

患者アウトカム達成のために **必要な**医療行為は?

患者アウトカム達成の確認に **必要な**判定基準、記録は?

アウトカム志向パスの作成

臨床パスの作成 = 診療プロセスの **見える化**

患者アウトカムの設定 = **目標**(考え方・進め方)の見える化

標準化

ムダ、ムリ、ムラを無くす!

ベストプラクティスをめざす!

医療者アウトカムの設定 = **治療・ケア内容**の見える化

患者アウトカム達成のために **必要な**医療行為は?

患者アウトカム達成の確認に **必要な**判定基準、記録は?

標準化って?

医療材料や物品などは統一!
良いものへ(性能、コスト、扱いやすさ)

■ 標準化:

「**標準**を決めて資材・製品などの規格や種類を統一すること」

「個々のものや方法を**標準的**なところに近づけること」

の意味で使用されることが多い

■ 標準:

診療・ケアの**目標**と**内容**の標準化

①物事を行う場合のよりどころとなるもの
(ア)手本、模範 (イ)目安、目標

~~②平均的であること 普通、並み~~

パスにおける標準、標準化とは

- パスにおける標準は、平均的なことではなく、医療現場において治療やケアを行う場合のよりどころとなる**手本や模範、目安や目標**のことである
- パスの作成は、自施設においてその時点で**一番良いと考えられる**治療やケアの**標準**を決めて可視化することにあたる

ベストプラクティス(最適・最良の方法)とは限らない

- パスの評価は、初期に設定した標準の**妥当性を検証**する作業にあたる
- パスの見直しは、検証作業の結果から、**より良い標準**を決定し、再度可視化することにあたる

パスの作成、使用、見直しにおける標準化の概念

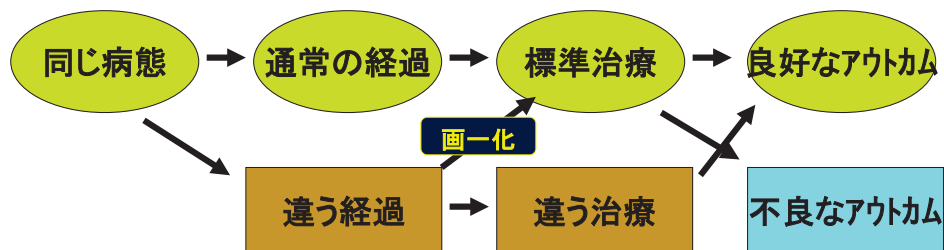
- 医療現場でのパス使用(パス適用)時は、患者に一番良いものとして設定されている医療者アウトカム(タスク)を、漏れることなく**確実に実施**することが重要である

- しかしながら**盲目的に一律に実施すること(画一化)**ではない!

セットオーダー(電子パス)は盲目的に実施されてしまう
⇒(患者)アウトカム達成の判定が必要!

診療プロセスの標準化と画一化の違い

通常の経過を辿っている場合は標準的な治療でよい



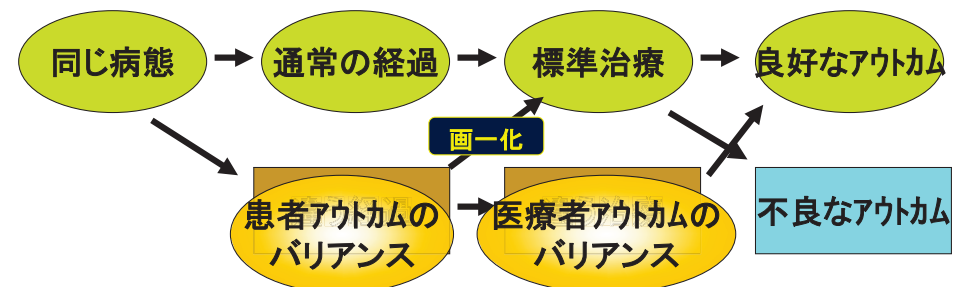
バリエーションは患者の個性
バリエーション対応は個性への対応
標準化≠画一化

標準的治療=手本・模範
標準化 ≃ 最適化

診療プロセスの標準化と画一化の違い

通常の経過を辿

バリエーションの定義
アウトカムが達成されなかった状態



バリエーションは患者の個性
バリエーション対応は個性への対応
標準化≠画一化

標準的治療=手本・模範
標準化 ≃ 最適化

パス医療:通常とは違う経過の場合 (クリティカルなバリエーションが発生した場合)

(重大な)患者アウトカムが未達成

ここにパワーを集中

適切な対応

早期解決による
良好な経過

患者満足度アップ

個別性に対応した
治療・ケアの提供

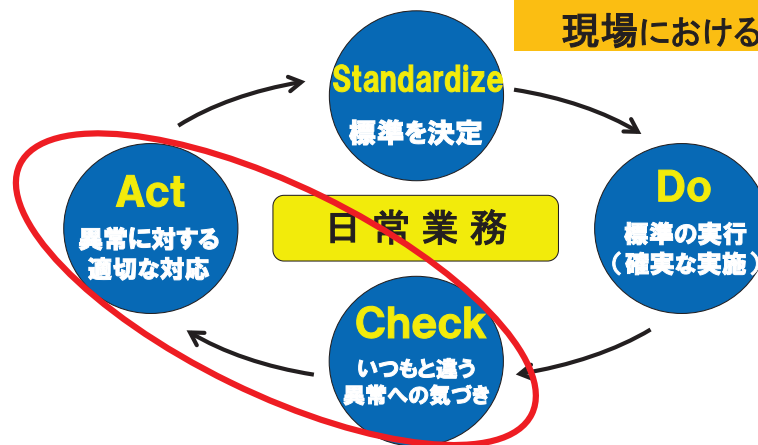
適切な患者アウトカム設定と
達成の確認が重要!

もし気がつかなければ

経過不良
不良なアウトカム
医療事故

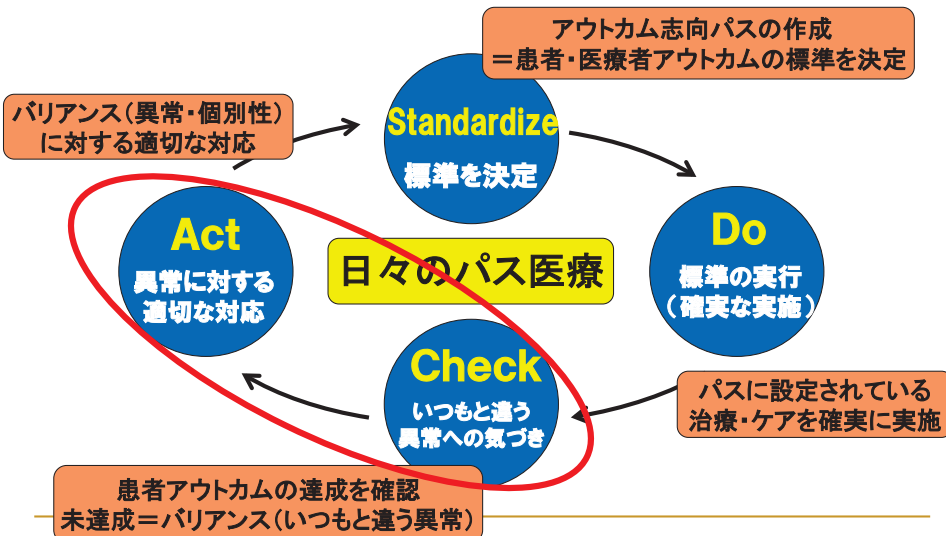
SDCAサイクル

日常業務管理
標準の維持定着
現場における質保証



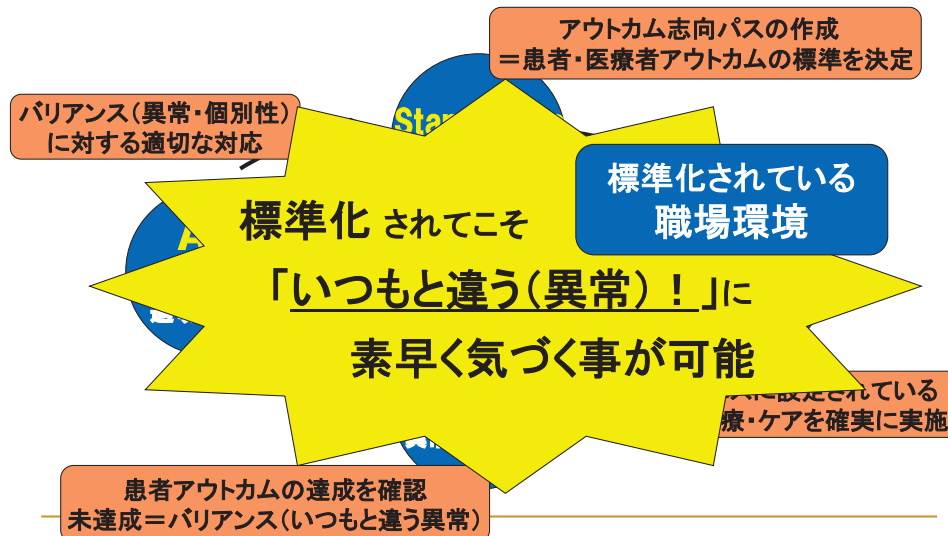
SDCAサイクルとパス

パス適用時



SDCAサイクルとパス

パス適用時

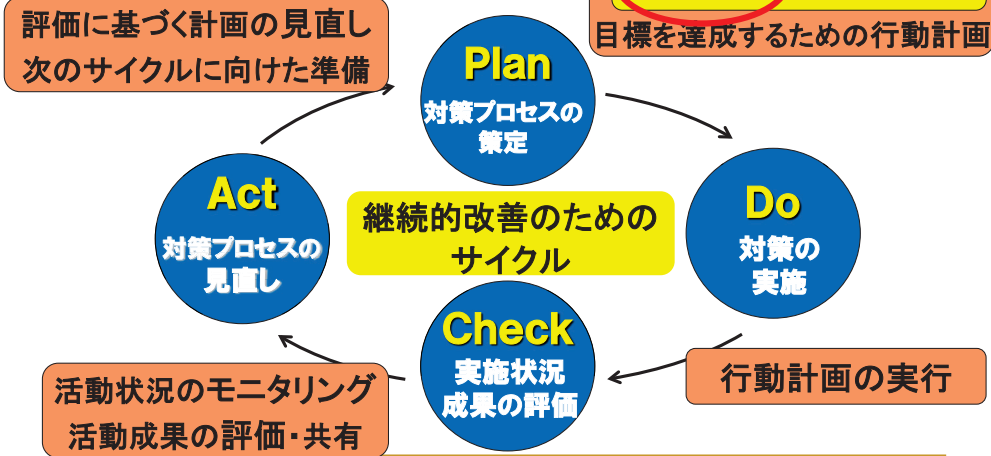


PDCA+

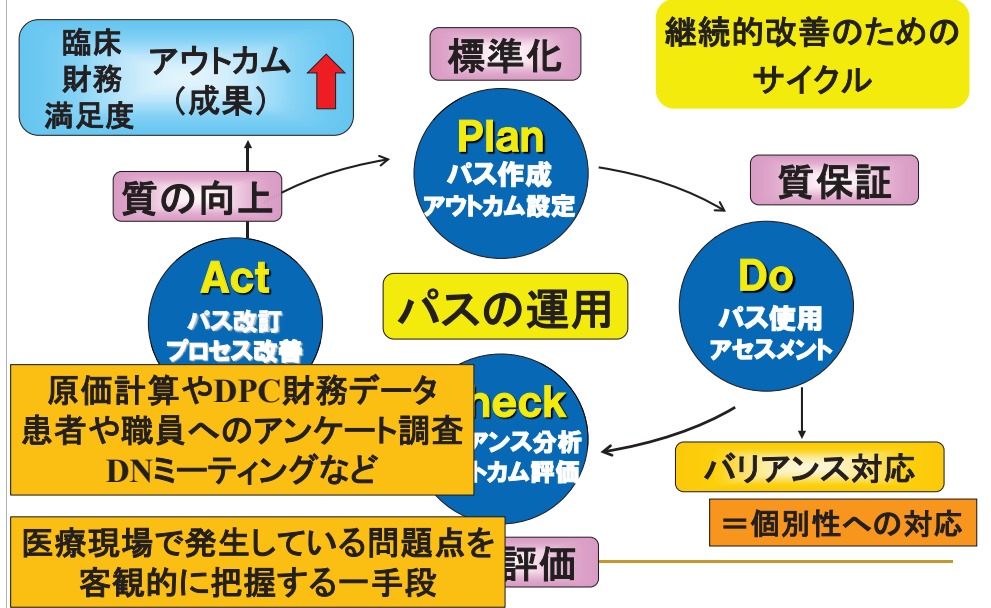
医療現場の業務・診療プロセスや成果・結果を客観的に把握し、問題点、課題を見出す

現状分析⇒目標設定

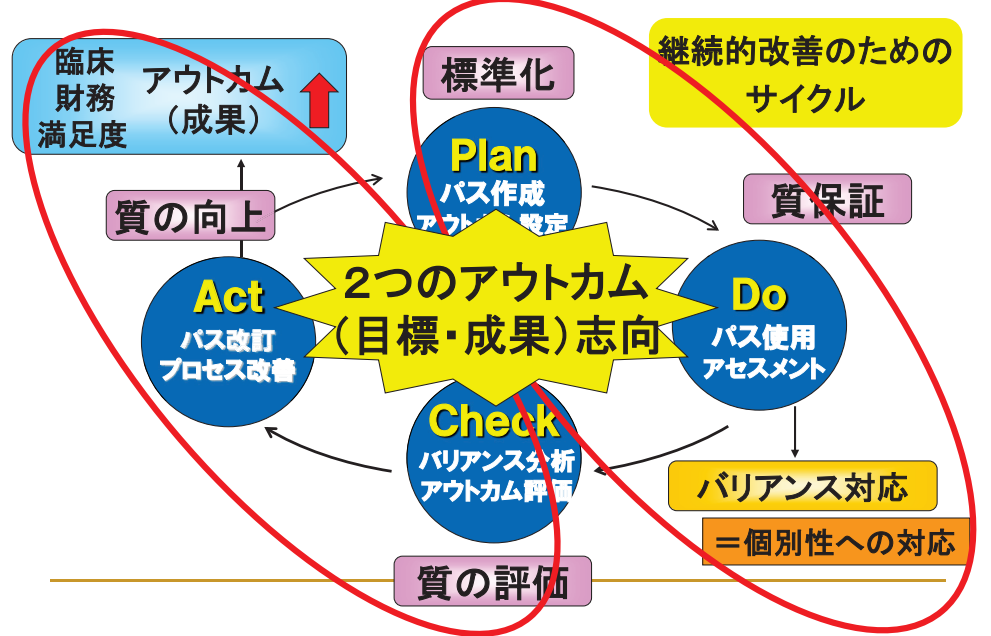
目標を達成するための行動計画



クリニカルパス と P(S)DCAサイクル



クリニカルパス と P(S)DCAサイクル



アウトカム志向には2つの意味が！

SDCAサイクル

①パス内のアウトカム パスの作成・使用

目指すべき患者状態(目標)を達成するための治療・ケアが提供され、達成確認の記録・評価がなされる

PDCAサイクル

パスの評価・改善

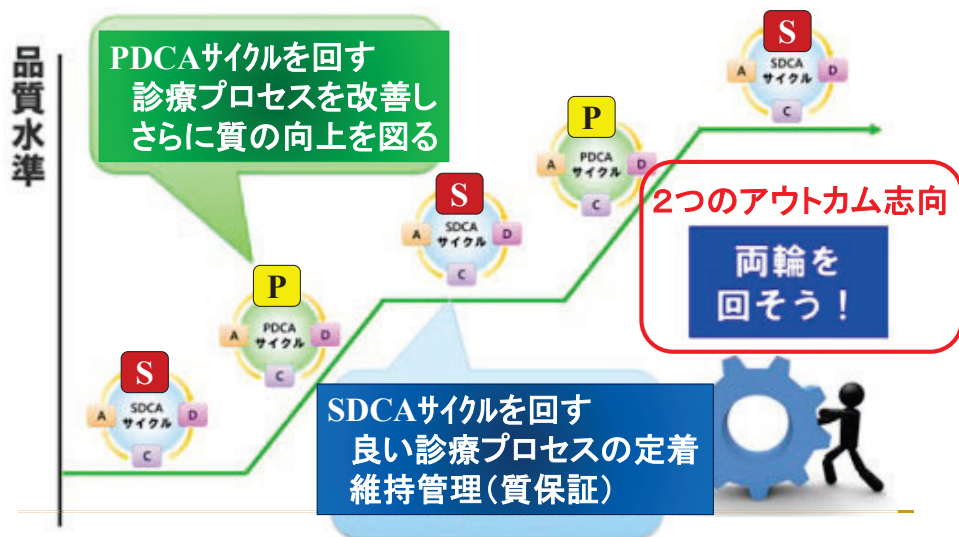
良い成果・結果に結びつく(結びつかせたい)

臨床・財務・満足度アウトカムの向上

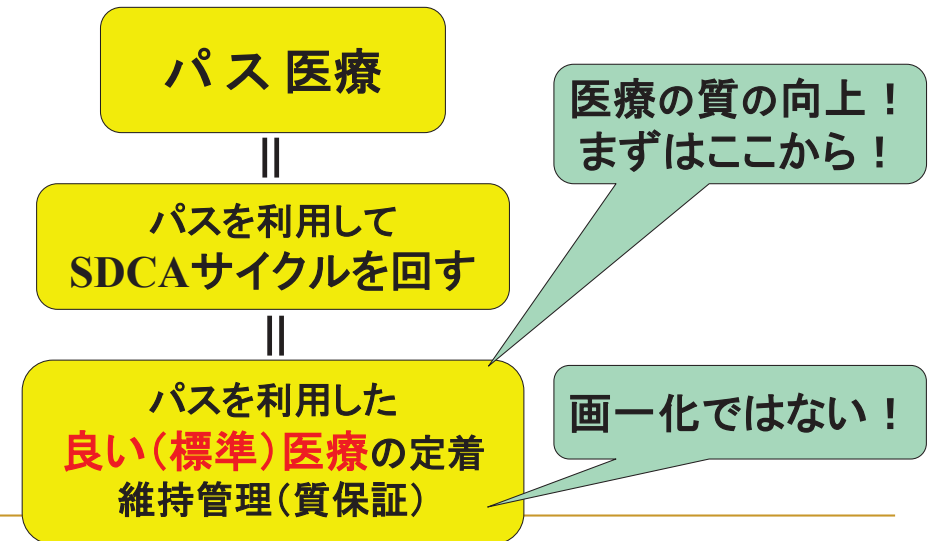
②広義のアウトカム

PDCAサイクルとSDCAサイクル

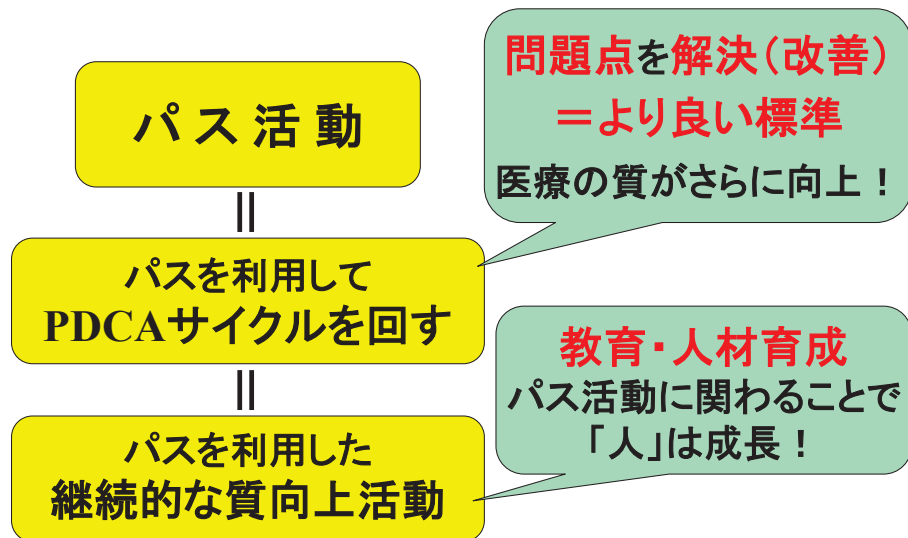
品質改善と日常管理の考え方





パス導入の意義とその本質



パス導入の意義とその本質!



われわれ医療スタッフの満足度?

- 
- やりがい・達成感
良い医療を提供する(事前)、提供できた(事後)
⇒しかしながら、それを生み出す業務が、われわれ医療従事者の**身体的、精神的疲労・疲弊**を招いては...
 - 業務負担軽減を図る必要がある!
⇒クリニカルパス(電子パス)の活用はその一つの方策である
 - 満足度アップ=やりがい!モチベーションアップ
⇒クリニカルパス活動の推進
- 

業務負担軽減

- アウトカム志向パス(特に電子パス)の使用は、
タスク(記録を含む)の一括オーダー機能による
マンパワー不足の解決、教育効果、タスクシェア効果
などにより

業務負担軽減をもたらす！

- 注意！
 - SDCAサイクルを意識しないと画一的になる
(医療安全管理上問題:状況によっては医療リスクに)
 - パスオーダー発行者の権限移譲:遵守すべきルールと体制

負担軽減

- アウトカム志向パスの使用は、看護記録の標準化、効率化により、

重複記録↓、記録時間↓などにより

業務負担軽減をもたらす！

- 注意！
 - 正しく作成、正しく使用していないと…
 - 看護記録(パス適用時の記録)に関して、院内であらためてしっかりと検討認識されていないと…

さらに

- パスの作成・使用は一般には、
患者数の多い、医療プロセスが既知の疾患
当該(専門)診療科が適用させて使用

少ない(=経験が圧倒的に不足)

診療プロセスや記録の標準化がより必要

- 近年、
 - 患者数の少ない疾患、検査
 - 非専門診療科適用、使用を前提に

マンパワー不足の解消
非専門医でも専門医と同様な標準治療の提供

新型コロナウイルス感染症クリニカルパス

- 第21回クリニカルパス学会学術集会
(山形:2021.11.27-28)
- 新型コロナウイルス感染症関連発表
 - コロナ禍におけるパス委員会、パス活動:4演題
 - パス作成、運用:19演題
 - 特別企画「**新型コロナウイルス感染症治療計画**
一当院ではこうしている一」:5演題

各施設が共通して挙げた パス導入の意義や成果

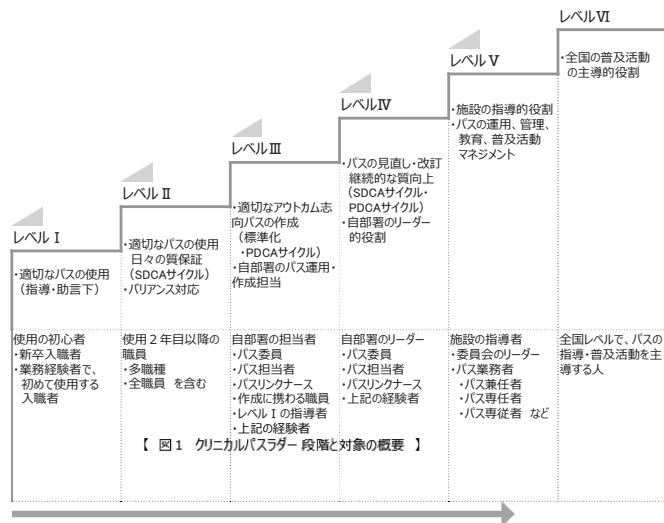
- 医療ケア、観察項目や記録の標準化による業務の効率化、質保証
- 専門診療科以外の医師が担当医でも、標準的かつ効率的な診療提供が可能
- 診療スタッフの精神的・身体的負担軽減効果

日本クリニカルパス学会誌 第24巻第1号 p31-60

パス学会におけるパス教育の今後

- 基礎編 教育セミナーの常時オンデマンド配信
 - パス学会HP内(2022年11月) 各施設の教育活動に利活用！
 - 6単元(予定): 負担軽減になってくれたら
 - ①パスの定義と基本用語 ②パス導入の意義と本質
 - ③パス作成の基礎 ④パス使用の基礎
 - ⑤パスの見直し1(バリエーション分析) ⑥パスの見直し2(その他)
- クリニカルパスラダー
 - レベル(6段階)別に対象者と学習達成目標を段階的に明確化
 - 教育習熟度評価ツール
 - 第22回パス学会(岐阜)パネルディスカッション7
「院内におけるパス教育の実際-問題点は何?その解決方法は!」
内で発表公開

クリニカルパスラダー段階と対象の概要



まとめ

- クリニカルパスは医療の質の向上をもたらす**ツール**
- 医療スタッフの**業務負担軽減**にもつながる
- **SDCA/PDCAサイクル**を継続的に回す必要がある
- **そのための知識と技術を学ばないと!**
- **院内教育**が必要かつ重要

